

## 平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

## 教育目標

- 1) 勉学、部活動、学校行事の三分野すべてに情熱をもって取り組み、しかる後に自分の希望する進路に到達する心爽やかで逞しい生徒を育てる学校をめざす。
- 2) 「行きたい」「行かせたい」と言われる、地域に信頼され、誇りとされる学校をめざす。

## 2 中期的目標

〇めざす学校像に向けて、以下の取り組みを行うとともに、絶えず振り返りを行い、ねらいどおりの結果が出ているかという計画・実践・評価・改善のPDCAを機能させて検証していく。概ね3年後を目途に以下のことに取り組み、※の目標を達成させる。

## 1 教員一人ひとりが、自分の力を発揮し、教員相互に高めあう学校

- (1) 生徒の学習意欲の向上に取り組み、自ら学ぶ習慣を確立させる
  - ア 授業において「ほめる・笑う・叱る」を教員は心がけ、生徒一人ひとりの学習意欲の向上を図る。
  - イ 課題提出100%に向けた学年・教科担当者全体での取り組みを行う。
  - ウ 自習室の利用率前年度比10%増の取り組みを行う。

※生徒向け学校教育自己診断における授業関連の肯定的意見を平成31年度に70%以上とする  
 ※教職員向け学校教育自己診断における授業関連の肯定的意見を平成31年度に75%以上とする
- (2) 教員同士が高めあう意識を持ち、モラルの向上を図り、授業力UPにつなげる
  - ア 教員相互授業見学の意識の共有化を図り、教員の授業改善の結果、生徒の授業満足度を向上させる。

※相互授業見学への教員の参加を、授業アンケートを活用して前年度比10%増  
 ※若手教員技量向上へ(新採3年目まで対象の)新三研修の継続

## 2 生徒が入ってよかった・卒業してよかったと実感できる学校

- (1) 入学から卒業までを見通したキャリア教育を通して、「生きる力」の育成に取り組む
  - ア 挨拶を通して、人間関係の構築のきっかけとさせていく。さらに遅刻数をさらに減らす。
  - イ 生徒会活動の活性化、部活動の充実化を図る。
  - ウ 国際交流の活性化を図る。
  - エ 朝の読書において、知的体験を蓄積できる系統的な学習の場とする。

※生徒向け学校教育自己診断におけるキャリア教育関連の肯定的意見を平成31年度に70%以上とする  
 ※遅刻者数前年度比10%の減少を図る  
 ※部活動加入率を平成31年度に70%以上とし、生徒向け学校教育自己診断における生徒会活動関連の肯定的意見を平成31年度に70%以上とする  
 ※海外研修参加者・海外高校生受入数を前年度より増加させる  
 ※生徒向け学校教育自己診断における朝の読書関連の肯定的意見80%以上を維持する
- (2) 一人ひとりの生徒が希望進路を切り拓くことができるよう、進路保障していく
  - ア 文系選抜コースで、実践運用能力重視の英語の授業。読解力・表現力深化をめざす国語の授業を展開する。
  - イ 目標達成に最後まで努力する態度を養い、一般入試に挑戦する生徒を増加させる
  - ウ 生徒の進路実現を支援する計画・体制を確立して、職業観を育成し、目標達成に最後まで努力する態度を育む。
  - エ 進学講習を組織的に実施する。

※授業で外部指標のある教材(漢検・英検)を活用し、文系選抜コースの生徒に「外部指標」受験を促す  
 ※卒業生の全合格数に占める4年制大学合格者を平成31年度に65%とする。  
 ※学校斡旋の就職内定率を100%とする  
 ※生徒向け学校教育自己診断における進路指導関連の肯定的意見を平成31年度に80%以上とする
- (3) 安全で安心な学校づくりを行う
  - ア 教育相談室を活用し教育相談体制を充実させる。担任等との面談機会を活用していく。
  - イ 円滑な人間関係の構築を支援し他者を思いやる心を育てるため、ガイダンス・HRの系統化を図る。
  - ウ 支援の必要な生徒とその合理的配慮について実態の把握と教員の共通理解を促進、支援の充実を図る。

※生徒向け学校教育自己診断における教育相談関連の肯定的意見を平成31年度に70%以上とする  
 ※生徒向け学校教育自己診断における人権教育関連の肯定的意見を平成31年度に70%以上とする  
 ※要支援生徒の情報共有に向けたケース会議や教員研修の充実

## 3 保護者や外部と手をつなぎ、その真ん中に生徒のいる学校

- (1) 高石市にある唯一の公立高校として地域の信頼に応えていく
  - ア 【学校を外に開く】毎年重ねて交流を求められるよう、地域、地元幼稚園、地元中学校等との地域交流を継続する。
  - イ 【学校を外に開く】中学校訪問や中高連絡会を実施し、生徒の出身中学校との連携を強化する。
  - ウ 【学校を外に開く】高石市合同津波避難訓練との連携を継続し、教職員・生徒ともに津波等に対する危機管理意識の更なる深化をはかる。
  - エ 【学校を内に開く】学校説明会などで本校の良さを知ってもらう取り組みを実施する。
  - オ 【学校を内に開く】「ご来校(お電話)いただきありがとうございました」の姿勢を維持する。

※地域交流が活発であったか  
 ※新入生の出身中学への訪問も含め、生徒、教員による中学校訪問合計数を前年度数以上とする  
 ※体験入学者数、学校説明会参加者数、クラブ体験の参加者を前年度数以上とする  
 ※生徒向け学校教育自己診断における危機管理関連の肯定的意見を前年度以上とする  
 ※保護者向け学校教育自己診断における学校評価関連の肯定的意見80%以上を維持する

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成30年1月実施分]	学校協議会からの意見
<p>(授業) 授業関連で教職員の授業関連項目では73%という肯定率があり、教員の授業力向上の意識は醸成されていると考える。生徒の「授業はわかりやすく、工夫されている」という質問項目でも肯定率は73%であり、学習の定着は一定できていると考える。</p> <p>(キャリア教育) キャリア教育関連で、生徒の「将来の進路や生き方について考える機会がある」という質問項目では79%の肯定率があり、生徒の進路保障をさらに充実させていきたい。 さらに、「挨拶の励行」における肯定率は生徒87%、教職員79%、保護者82%であり、平素から生徒の挨拶ができていると考える。</p> <p>(部活動・学校行事) 部活動の肯定率は、生徒82%、教職員89%、保護者86%であり、学校行事の肯定率も生徒77%、教職員83%、保護者89%であり、昨年度の結果より肯定率は高くなっている。</p>	<p>第1回 (平成29年7月4日) 今年度入試倍率が上がったことの要因について聞かれ、「2月に学校説明会を実施したことが大きい」との見解を示した。 また、行事などについて活気ある文化祭など、中学生から肯定的な意見が耳に入るとのお褒めの言葉をいただいた。</p> <p>第2回 (平成29年9月9日) コーラス大会の予選を見て、生徒の成長を感じてとてもよかった。さらに、今年のコーラス大会はレベルが高く、鑑賞態度も例年にも増してよかったとお褒めの言葉をいただいた。 進路実現のために、高石高校の卒業生などの話を聞く機会があればよいとのご提言を受け、「先輩による進路講話」を、同窓会などにも協力いただいて、検討することとした。</p> <p>第3回 (平成30年2月23日) 近年小学校の卒業式で、羽織袴を着てくる児童が増えているが、高校ではどうかという問いかけに、学校側は「本校の制服に愛着があり、全員制服を着用している」と答えた。 また、生徒からの自己診断で、授業に関する評価は高く、実際「〇〇先生のおかげで、その科目が好きになった」とか「自分がこうしたい!という気持ちに込めてくれる先生に出会ってよかった」という子どもの声があり、学校は良い方向に向かっていると思うとお褒めの言葉をいただいた。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 教員一人ひとりが、自分の力を発揮し、教員相互に高めあう学校</p>	<p>(1) 生徒の学習意欲の向上に取り組み、自ら学ぶ習慣を確立させる</p> <p>(2) 教員同士が高めあう意識を持ち、モラルの向上を図り、授業力UPにつなげる</p>	<p>(1) ・家庭や自習室での学習を定着させる。 ・単元が終わるごとに、科目担当者同士で授業の進捗や深度などの情報交換を行い、生徒の学習定着度を共有する。 ・生徒の学習活動を肯定的に評価するとともに、興味関心を引き出すためICT機器等を活用した教材や指導法を研究する。</p> <p>(2) ・授業アンケート結果及び授業見学(教員相互も含む)に基づき、授業改善方策を検討する。 ・初任3年目までの教員を対象とした「新三研修」を継続し、研究授業とともに振り返りも行う。</p>	<p>(1) ・自習室の利用者数を前年度数以上。 (平成28年度3025名) ・生徒向け学校教育自己診断「授業関連」の肯定的意見を63%。 (平成28年度61%) ・教職員向け学校教育自己診断「授業関連」の肯定的意見を75%。 (平成28年度73%)</p> <p>(2) ・教員相互の授業見学者を50%。 ・「新三研修」に初任3年目までの教員が全員参加したか。</p>	<p>(1) ・自習室の利用者数 3227名 ○ ・生徒向け学校教育自己診断「授業関連」の肯定的意見 73% ◎ ・教職員向け学校教育自己診断「授業関連」の肯定的意見 75% ○</p> <p>(2) ・教員相互の授業見学者数 56% ○ ・全教員の授業見学延べ回数 112回 ・「新三研修」に初任3年目までの教員だけでなく、初任4年目の教員にも全員参加させ、講師である大学教員の意を受けて、ファシリテートの役割をさせ、彼らにミドルリーダーであると意識させるきっかけ作りを行い、成果を挙げた。○</p>

## 府立高石高等学校

<p>2 生徒が入ってよかった・卒業してよかったと実感できる学校</p>	<p>(1) 入学から卒業までを見通したキャリア教育を通して、「生きる力」の育成に取り組む</p> <p>(2) 一人ひとりの生徒が希望進路を切り拓くことができるよう、進路保障していく</p> <p>(3) 安全で安心な学校づくりを行う</p>	<p>(1) ・在籍生徒数は増加したが、遅刻者数を減らす。 ・部活動への入部を奨励し、生徒の自立心を育む。 ・国際交流の機会を増加させる。 ・「第三次大阪府子ども読書活動推進計画」の基本方針のもと、朝の読書を行う。</p> <p>(2) ・コースと選択科目の効果的な運用を検討する。 ・学力生活実態調査等の外部指標教材を活用し、学力の向上を図る。 ・進路希望を実現するために、最後まであきらめない意識を持たせる。</p> <p>(3) ・学年団、各分掌で生徒情報を共有する。 ・教育相談委員会を充実させ、SCとともに、生徒が相談しやすい環境作りに努める。 ・人権平和教育推進委員会の活動を充実させ、計画的な指導計画を作成する。</p>	<p>(1) ・遅刻者数を2000名以下を維持。 (平成28年度1728名) ・部活動入部率70%。 (平成28年度68%) ・海外高校受入れ回数と語学留学生数の増加(平成28年度受け入れ3回、語学留学8名) ・生徒向け学校教育自己診断「朝の読書」の肯定的意見80%を維持する。 (平成28年度81%)</p> <p>(2) ・選択科目等含めたカリキュラムの検討をしたか。 ・漢検、英検の受験者数を350名以上。 (平成28年度172名) ・4年制大学合格率65%。 (平成28年度62%) ・学校幹旋の就職決定率100%を維持する。 (平成28年度100%) ・生徒向け学校教育自己診断「進路指導関連」の肯定的意見を78%。 (平成28年度76%)</p> <p>(3) ・教職員向け学校教育自己診断「生徒情報共有関連」肯定的意見を65%。 (平成28年度63%) ・生徒向け学校教育自己診断「教育相談関連」肯定的意見を60%。 (平成28年度58%) ・生徒向け学校教育自己診断「人権教育」肯定的意見を63%。 (平成28年度60%)</p>	<p>(1) ・遅刻者数 1567名◎ ・部活動入部率 68% △ ・語学留学生数(米国・豪州)14名 ○ ・生徒向け学校教育自己診断「朝の読書」の肯定的意見 84% ○</p> <p>(2) ・選択科目等含めたカリキュラムの検討をし、生徒の進路希望実現のため、講座を二分割するなどを校内対応で実施した。 ・漢検、英検の受験者数 165名 △ ・4年制大学合格率 48% △ ・学校幹旋の就職決定率100% ◎ ・生徒向け学校教育自己診断「進路指導関連」の肯定的意見 78% ○</p> <p>(3) ・教職員向け学校教育自己診断「生徒情報共有関連」肯定的意見 70% ○ ・生徒向け学校教育自己診断「教育相談関連」肯定的意見 62% ○ ・生徒向け学校教育自己診断「人権教育」肯定的意見 70% ○</p>
<p>3 保護者や外部と手をつなぎ、その真ん中に生徒のいる学校</p>	<p>(1) 高石市にある唯一の公立高校として地域の信頼に応えていく</p>	<p>(1) 【学校を外に開く】 ・部活動や学校行事等を通じて、幼稚園、中学校、自治会等と交流を実施。高石市連携の地震津波合同避難訓練で水平避難も実施。 ・教員のみならず生徒も含めて広報活動を中心にした中学校、塾等の訪問や中高連絡会を実施し、生徒の出身中学校との連携を強化する。</p> <p>【学校を内に開く】 ・体験入学、学校説明会をはじめとする本校の良さを知ってもらう取り組みを実施する。 ・「ご来校(お電話)いただきありがとうございました」の姿勢を維持する。 ・創立50周年に向けて準備を始める。</p>	<p>(1) 【学校を外に開く】 ・交流や避難訓練を実施し、活発であったか。 ・広報委員会を核とする学校全体での外部訪問件数を前年度以上とする。 (平成28年度164件)</p> <p>【学校を内に開く】 ・学校説明会・体験入学・クラブ体験等の参加人数合計延べ650名以上。 (平成28年度630名) ・保護者向け学校教育自己診断「学校評価関連」肯定的意見80%以上を維持する。 (平成28年度82%) ・創立50周年に向けて、動き出したか。</p>	<p>(1) 【学校を外に開く】 ・幼稚園(たこあげ)自治会(地域清掃)等の交流を実施。さらに、吹奏楽部が地域連携の中心的な役割を担い、地域でのコンサートをはじめ、専門学校文化祭のオープニング演奏・中学校・高齢者施設・障がい者施設・盆踊りなどで演奏し、広報活動に大きく貢献した。◎ ・市と合同で大規模災害の避難訓練を午後すべての時間を使って実施した。「てんでに避難場所まで逃げる」という意識を生徒たちに根付かせることができ、意義ある取り組みであった。 ・外部訪問件数 吹奏楽部の訪問も含め、180件 ○</p> <p>【学校を内に開く】 ・学校説明会・体験入学・クラブ体験等の参加人数合計延べ723名と大幅増した。◎ ・保護者向け学校教育自己診断「学校評価関連」肯定的意見を(=「高石高校に入学させてよかった」の肯定的割合)89%(◎) ・創立50周年に向けて、予算関係を検討している ○</p>